あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

法人のお客さまへ

内部留保資金の有効活用と
リスク分散を図る投資信託のご提案

福岡銀行　熊本銀行　親和銀行

●これまでに、預金やMMFなどの短期金融資産、国債などで運用されていた法人のお客さまは、低い水準の金利環境が続くなか、内部留保資金の置き場の見直しが必須になってきました。

●また、国内外の物価上昇や、少子高齢化などを踏まえると、将来も同じ価格で設備投資や労働コストを賄えなくなることが懸念されます。

〈内部留保資金の有効活用として〉

●預金や債券の利回りが低いなか、株式やREITといった金融資産は、配当や分配金の利回りが高い分、価格変動リスクも高くなっています。さらに、海外資産には為替リスクもあります。

●しかし、投資信託などを通じて、値動きの異なる複数の資産に分散投資を行えば、全体としての価格変動を抑える効果が期待されます。

お持ちの資産　○日本円 ○外貨

預金利回りは0.00%近辺で推移

日本国債5年物利回り=−0.10%（2018年3月末時点）

対米ドル為替ヘッジコスト=2.59%（2018年3月末時点）
米国国債利回り=2.56%（2018年3月末時点）

預金	MMF	国内債券	外国債券（ヘッジあり）	外国債券（ヘッジなし）	REIT	国内株式	外国株式
これまで安定運用資産・低リスク資産と考えられた資産クラス				為替変動リスク・株価変動リスクを伴う資産クラス			

低リスク ⟷ 高リスク

出所:ブルームバーグのデータを使用し福岡銀行作成

**国内における長引く低金利環境下において、
資金運用にお悩みの法人のお客さまへ**

**さまざまな金融資産への分散投資によって、
安定的なリターンの獲得を目指す投資信託での
資金運用をご提案します。**

※投資信託は国内外の株式・債券等で運用するため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、投資元本を割り込むおそれがあります。

投資信託を活用するメリット

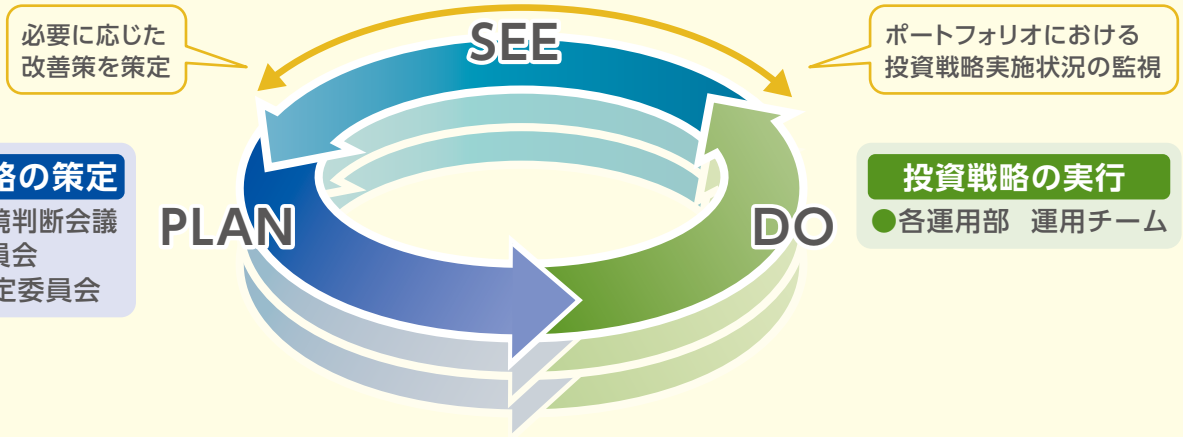
メリット1 高度な運用をお客さまに代わってプロが行います。

投資信託の運用会社は、企業や発行体を分析するアナリスト、経済・金融情勢を分析するエコノミスト、ファンドを運用するファンドマネージャー等を多数抱え、高度な専門性への要求に応えています。

運用会社（高度な専門性）

- 内外の有望投資先を選択
- 外国経済・政治の変化を監視
- さまざまな運用手法を駆使
- 高度なリスク管理など

投資戦略の監視・改善
- 調査・運用プロセスの改善
- 投資判断プロセスの改善
- 調査・運用プロセスの監視



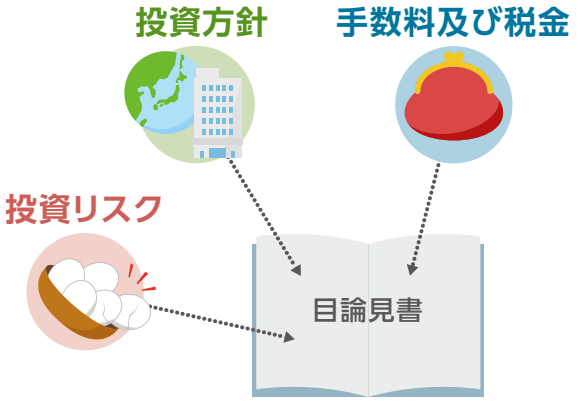
投資戦略の策定
- 投資環境判断会議
- 戦略委員会
- 銘柄選定委員会

投資戦略の実行
- 各運用部　運用チーム

メリット2 透明性の高い充実した運用報告の開示

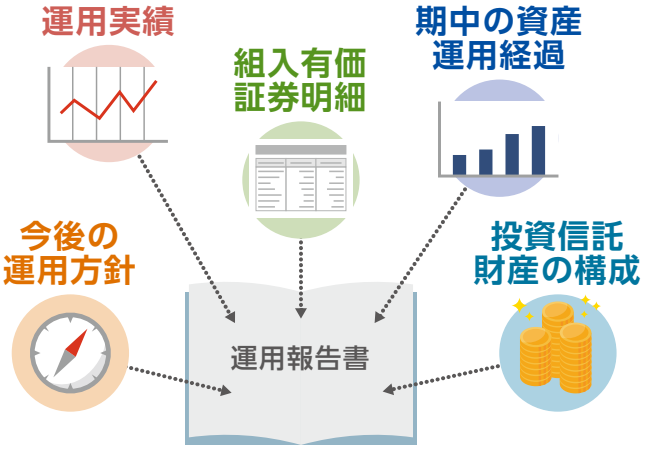
目論見書

投資信託の各商品ごとに作られている説明書。ファンドの仕組み、性格及び特色、運用体制、投資リスク、申込手続き、手数料などの費用や税金など重要な事項が分かり易く説明されています。



運用報告書

投資信託がこれまでどのように運用され、実績はどうだったのか。また今後の経済情勢を踏まえ、どのような方針で運用していくかを詳しく説明しています。



週次・月次レポート

各種レポートには投資信託の値段である「基準価額」の値動きや、支払われた分配金の推移などに加えて、組入れられている資産の種類とその割合、運用実績や市場動向に対する運用担当者のコメントなどを定期的に解説しています。

インターネット

ご購入いただいた投資信託に関する各種情報は、販売会社や運用会社のホームページにも最新情報が定期的に更新され、掲載されています。

FFGでは多様な投資信託をご用意しております。

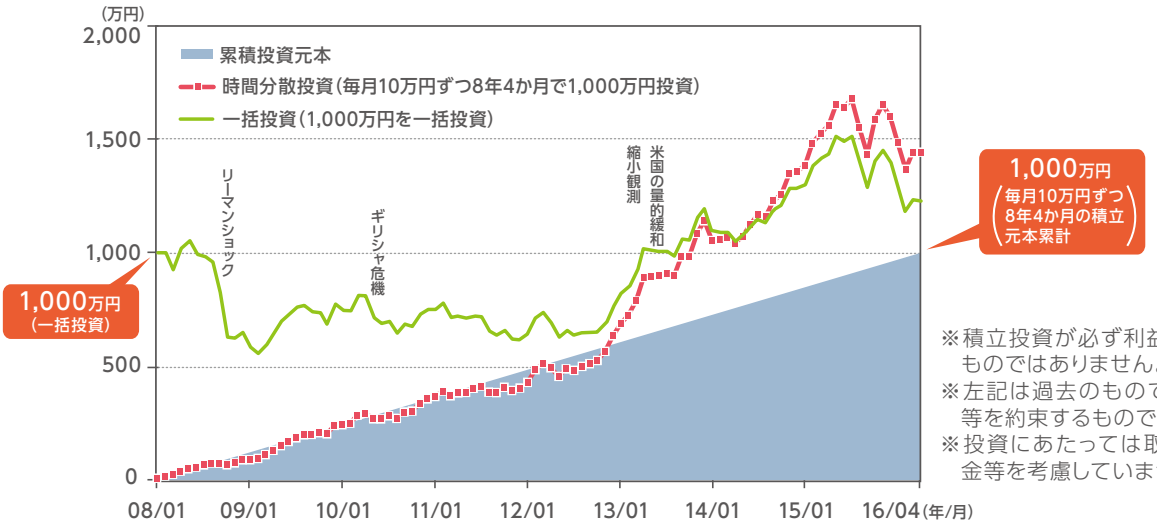
※当行では、掲載以外のファンドもお取扱しております。詳しくはお気軽におたずねください。

時間分散で負けにくい投資を!

例えば2008年1月末に日経平均株価に「一括」で投資を行った場合と、同月から毎月「積立」で投資を行った場合を比較すると、下表のように2016年4月末の増加額は元本が同じ投資額であっても、「積立」で行った場合の方が大きくなることがわかります。
これは相場が大きく下落した局面においても、購入時期を分散しながら継続的に投資を行った結果、その後の上昇局面を捉えることができたからと言えます。

日経平均株価に「積立」と「一括」で投資した場合

期間:2008年1月末~2016年4月末



※積立投資が必ず利益があることを保証するものではありません。
※左記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※投資にあたっては取引にかかるコストや税金等を考慮していません。

出所:信頼できるデータをもとに福岡銀行が作成

投資成果のイメージ

累積投資元本
1,000万円

時間分散で投資した場合* **1,441万円** (増加率 44%)

一括投資した場合** **1,226万円** (増加率 23%)

*毎月10万円ずつ日経平均株価に投資　**1,000万円を一括で日経平均株価に投資

資産分散で負けにくい投資を! バランス型投信のご紹介

ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド

〈設定・運用〉ピクテ投信投資顧問

愛称:クアトロ

- **Point1** さまざまなアセット・クラス(資産)へ分散投資し、ポートフォリオ効果を追求することで、リスクに対するリターンの向上を狙う
- **Point2** 高い運用力が期待できる戦略を選別し分散投資
- **Point3** 市場環境に応じてアセット・クラスやその配分比率を機動的に変更

GSトータル・リターン

〈設定・運用〉ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〈積極(年2回決算)〉
〈安定(年2回決算)〉
〈安定(毎月決算)〉

- **Point1** グローバル経済成長を収益の源泉として、幅広く分散投資
- **Point2** 市場の下落に備え、資産価値の減少リスク抑制を目指す
- **Point3** 市場環境等の変化に応じて、柔軟に投資対象、投資手法、配分比率を見直し

フィデリティ・コア・インカム・ファンド

〈設定・運用〉フィデリティ投信

〈資産成長型〉
為替ヘッジあり／
為替ヘッジなし
〈毎月決算型〉
為替ヘッジあり／
為替ヘッジなし

- **Point1** インカム収益に着目して世界の3つの資産(成長資産、高利回り資産、安定利回り資産)に投資
- **Point2** 成長力と安定性を高める工夫を実践
- **Point3** フィデリティ独自のグローバル調査ネットワークで相場変動に応じた運用

低リスク資産で負けにくい投資を! 外国債券型投信のご紹介

ピクテ中短期債券ファンド

〈設定・運用〉ピクテ投信投資顧問

愛称:いろは

〈毎月決算型〉
〈1年決算型〉

- **Point1** 世界の社債等に投資を行うことで、国債より高い利回りの獲得を期待
- **Point2** デュレーションを2～3年程度とし、為替ヘッジを行うことでリスクを低減
- **Point3** 多数の銘柄に分散投資を行うことでリスクを低減

GSフォーカス・イールド・ボンド

〈設定・運用〉ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

愛称:ターゲット・ボンド

〈毎月決算コース／
年2回決算コース〉

- **Point1** 世界のさまざまな債券を組み合わせ、ポートフォリオの組入資産の平均利回りを約3%に維持することを目指す
- **Point2** 平均利回りの維持を目指しながら、ポートフォリオの価格変動リスクが最小となるよう、債券の組み合わせを原則として四半期ごとに調整
- **Point3** 原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクを低減

野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド

〈設定・運用〉野村アセットマネジメント

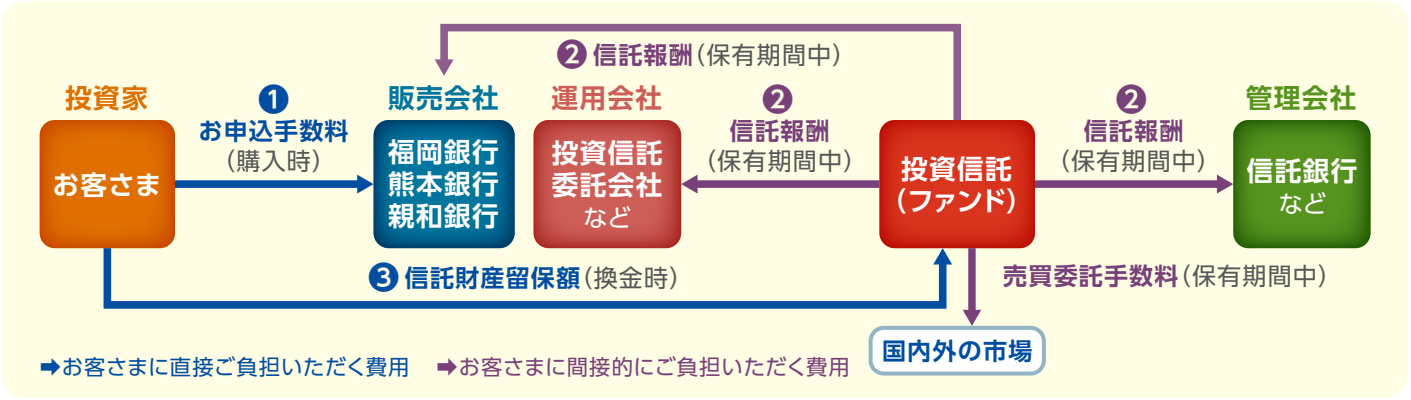
Aコース
(為替ヘッジあり 年2回決算型)
Bコース
(為替ヘッジなし 年2回決算型)
Cコース
(為替ヘッジあり 毎月分配型)
Dコース
(為替ヘッジなし 毎月分配型)

- **Point1** 世界の幅広い債券から、比較的高水準かつ安定的なインカム収入が期待できる銘柄へ投資
- **Point2** 世界の経済・金融情勢に合わせて、機動的に資産配分を調整
- **Point3** 世界最大級の債券運用残高を有し、外部からの高い評価をうけるPIMCOが運用

※掲載ファンドはあくまでも一例であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※当行では、掲載ファンドのみならず幅広い商品をお取扱しております。詳しくはお気軽におたずねください。

投資信託にかかる費用

投資信託には購入時の申込手数料のほかに、信託財産から間接的にご負担いただく信託報酬等がかかります。



❶購入時＝お申込手数料

購入時に支払う費用です。
お申込金額＝（基準価額×お申込口数）＋お申込手数料（税込）

❷保有期間中＝信託報酬

保有期間中に信託財産の運用や管理などの対価として間接的にかかる費用です。信託財産の中から販売会社・運用会社・管理会社へ日々支払われます。純資産総額にそれぞれの料率を乗じた額になります。

※このほか、その他費用として、監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産保管費用、信託事務の諸費用等の費用がかかります。

❸換金時＝信託財産留保額

換金時に基準価額から差引かれる費用です。投資家間の公平性の観点から、換金によってファンドに発生する費用を、換金する投資家が負担するというものです。徴収された費用はファンドに留保されます。換金適用日の価額にそれぞれの料率を乗じた額になります。

それぞれの費用等は、ファンドにより異なり、事前に料率等を示すことができません。詳しくは、各ファンドの目論見書等、またはお客さま向け資料をよくお読みください。

投資信託に関するご留意点

●ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「投資信託説明書（交付目論見書）」等を必ずお読みください。「商品パンフレット」「投資信託説明書（交付目論見書）」等は福岡銀行・熊本銀行・親和銀行本支店等にご用意しています。ただし、インターネットバンキング専用ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）等は、店頭窓口にはご用意しておりません。福岡銀行・熊本銀行・親和銀行のインターネットバンキングよりダウンロードいただくことでご確認いただけます。
●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。また、福岡銀行・熊本銀行・親和銀行で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
●福岡銀行・熊本銀行・親和銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。
●投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
●投資信託は、国内外の株式や債券等に投資しているため、投資対象の価格が、金利の変動、為替の変動、発行者の信用状況の変化等で変動し、基準価額が下落することにより、投資元本を割り込むことがあります。
●投資信託には手数料等がかかります。ご購入から解約・償還までの間に直接または間接にご負担いただく費用には以下のものがあります。
＊申込手数料　＊解約手数料　＊信託財産留保額　＊信託報酬　＊監査費用・有価証券売買手数料等その他費用
上記費用を足し合わせた金額をお客さまにご負担いただきます。
申込・解約時の手数料および信託報酬等は、投資信託ごとに異なります。また、その他費用は運用状況により変動します。したがって、事前に料率および計算方法等を示すことができません。詳細は、「投資信託説明書（交付目論見書）」等をご覧ください。
※福岡銀行・熊本銀行・親和銀行では、総合口座貸越等の理由による金融商品のお取引は、貸越利息等をお客さまにご負担いただくことになりますので、お取扱いしておりません。

[商号等]株式会社 福岡銀行（登録金融機関）　[登録番号]福岡財務支局長（登金）第7号　[加入協会]日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
[商号等]株式会社 熊本銀行（登録金融機関）　[登録番号]九州財務局長（登金）第6号　[加入協会]日本証券業協会
[商号等]株式会社 親和銀行（登録金融機関）　[登録番号]福岡財務支局長（登金）第3号　[加入協会]日本証券業協会

投資信託に関するお問い合わせ先は

福岡銀行
■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ
0120-788-324　携帯からもOK!
資産運用 メニュー 4 ご相談　ふくぎんホームページ　ふくぎん 検索
[受付時間]平日9:00～20:00 但し、銀行休業日は除きます。

熊本銀行
■熊本銀行ダイレクトコンサルティングプラザ
0120-333-086　携帯からもOK!
資産運用 メニュー 4 ご相談　熊本銀行ホームページ　熊本銀行 検索
[受付時間]平日9:00～20:00 但し、銀行休業日は除きます。

親和銀行
■親和銀行ダイレクトコンサルティングプラザ
0120-34-3456　携帯からもOK!
資産運用 メニュー 4 ご相談　親和銀行ホームページ　親和銀行 検索
[受付時間]平日9:00～20:00 但し、銀行休業日は除きます。

登録有 登録無 LB/A H L　平成30年7月17日現在 D601